

# 決 議 文

我々は、暴力のない平和で住みよいまちの実現を強く求めている。

しかしながら、その願いを阻害し、安全で平穏な日常生活や事業活動に重大な脅威を与えているのが暴力団の存在である。

暴力団は、活動資金獲得のため、その威力を背景に覚醒剤等違法薬物の密売、特殊詐欺の敢行、公共工事への不当介入など、あらゆる犯罪に関与し、地域社会に大きな不安と被害をもたらしている。

また、暴力団は、様々な手段を使って青少年に接近し、組織への勧誘や犯罪への利用など、青少年の健全な育成にも極めて悪い影響を与えている。

なかでも、久留米市に本拠を置く指定暴力団道仁会は、警察当局の徹底した取締りと、市民の暴力追放運動の高まりにもかかわらず、依然として勢力の拡大を画策している。

こうした暴力団を根絶するため、警察・行政・事業者、そして市民がこれまで以上に連携を強め、社会全体が一丸となって、あらゆる分野から暴力団を排除するという強い対決姿勢を堅持し、地域社会の中で孤立化させなければならない。

よって、我々は、次のスローガンを掲げ、地域社会の総力を結集した根気強い暴力追放運動を展開し、この久留米市から暴力をなくすまで全力を尽くすことを決議する。

## スローガン

- 一. 市民の平穏な生活と事業活動を侵害する暴力団は絶対に許さない。
- 一. 暴力団排除条例を遵守し、「暴力団を利用しない」、「暴力団を恐れない」、「暴力団に金を出さない」、「暴力団と交際しない」という四つの運動を実践し、民事介入暴力を徹底排除しよう。
- 一. 暴力団や銃器、爆発物などに関する情報は、恐れずに通報しよう。
- 一. 暴走行為を追放するなど、地域ぐるみで青少年の健全育成と環境浄化に努めよう。
- 一. 覚せい剤、大麻、危険ドラッグ等の違法薬物は、絶対手にせず、絶滅させよう。

令和元年12月1日

暴力団壊滅市民総決起大会 参加者一同